

インタビュー (坂野自治会長編)

【質問 1】 現在地域の課題として、自治会長のなり手がなく、若い方の地域活動への参加が少ないという現状がありますが、その中でご自分から積極的に手を挙げられた理由やきっかけは。

【回答】 光陽台全体が高齢化しており、今後若い世代が自治会に積極的に参加していくための足掛かりになればと思い立候補させていただきました。

【質問 2】 自治会長になる前までは、地域の様々な活動に対してどのように思っていましたか。

【回答】 自治会長になる前に環境衛生をさせていただいており、光陽台以外でも正直若い方の参加人数が少ないと思

ていました。

【質問 3】 これからどんなことに取り組んでみたいですか。

【回答】 原地区全体がそうなのか分かりませんが、浄化槽の老朽化が顕著なので、その修理又は交換に取り組みたいです。

【質問 4】 自治会長になって、どんな点に苦労されていますか。

【回答】 若い世代の自治会への積極的な参加の促進を目指していますが、非常に仕事、子育てとの両立が難しいと感じています。



【質問 5】 将来原地区にどのようなまちになってもらいたいですか。

【回答】 原地区全体では非常に難しいと思いますが、まちがもっと若返り、例えば浄化槽の健全化、野良犬の駆除、地域猫の保護、コンビニの設置など若者の住みよい環境が整ったまちになって欲しいです。

【質問 6】 同じように自分から地域活動に参加する人を増やすにはどのようなことが必要だと思いますか。

【回答】 30代から40代でつくる『若者自治会』を設立してもいいと思います。

【質問 7】 今後も引き続き地域活動にかかわっていくことを意識されていますか。

【回答】 引き続き継続したいと思いますが、仕事との両立が困難かもしれません。

【質問 8】 最後に、思いを語ってください。

【回答】 光陽台自治会長をさせていただき、様々な方と少しですが交流し感じた事は、自分一人では何もできず、家族、光陽台の住民の皆様、原地区の皆様がいるからこそ非力ながらも貢献できているのかと少しずつ思えるようになりました。働き世代、子育て世代にはなかなか自治会との両立が非常にハードルが高く感じ難しく思いますが、皆様の助けがあれ

ば乗り越えていけると自分は感じますし、
無責任な発言かもしれませんが何とかな
ると思います。

　　どんどん働き世代、子育て世代の方
にも自治会に参加していただきたいと思
います。